



朝風

平成31年度
学校報No.27
令和元年10月21日
大仙市立
大曲南中学校

後期スタート

継承・創造・学びの後期に！

17日で生徒会役員選挙の立候補が締め切られ、18日の朝には、立候補者が校門前で挨拶に立つ姿が見られました。自らの判断で、意欲的に取り組もうとする姿勢を嬉しく感じます。後期は、これまで生徒会や部活動を牽引してきた3年生から1、2年生へと、その役割がバトンタッチされます。伝統の継承と、新たな生徒会活動の創造の機会となります。

また、学校行事が一段落するので、より一層の学力向上を図る時期でもあります。本校は今年度、「生徒の『主体的・対話的で深い学び』を実現するための授業改善と指導方法の工夫」を研究の目標に掲げて取り組んでいます。生徒とともに「授業で勝負！」を合い言葉に、日々の積み重ねを大切にしていきます。

後期始業式



16日の始業式では、各学年の代表3人が後期の目標を発表しました。1年生の伊藤アウラ和さんは、文章問題に取り組んだり、自学ノートの使い方を工夫したりするなどして、苦手科目の克服を目指すことと、元気な挨拶や規則正しい生活を心がけることを、2年生の佐々木太愛さんは、授業や集会等での積極的な発言や部活動と生徒会活動で全体をリードしていくことを、3年生の佐藤楓夏さんは、進路希望の実現に向けて応力の向上を図ることや時間の有効活用を目指すことを話してくれました。校長からは、「みんなが言っているから…」や不確かなネットの情報等に左右されることなく、正しく判断することの必要性について話しました。3年生は進路選択、1、2年生は生徒会や部活動のあり方等、様々な機会に判断を迫られる機会が多くなってきます。情報の適切な取舍選択と信頼できる人との相談によって方向性を定めることや、災害時の避難等、命に関わることについては、臆病なくらい最悪な状況を想定して判断することを呼びかけました。



生徒会役員選挙

選挙運動は18～29日、立合演説会及び投票は30日に行われます。素晴らしい生徒会を築くために立候補してくれました。



- ◇生徒会長（定員1名）候補
小松田梓音（託者 高橋 凜）
小場 星輝（託者 古谷 綱己）
- ◇副会長（定員男女各1名）候補
大坂 弥熙（託者 菅原 璃久）
佐々木結衣（託者 伊藤 叶桃）
進藤 美結（託者 黒田莉々子）

* 生徒会長、女子副会長は選挙、男子副会長は信任投票となります。

思春期ころの健康講演会



18日、大仙市健康増進センター主催による「思春期ころの講演会」が本校を会場に行われました。講師は臨床心理士で本校のスクールカウンセラーでもある菅原由起子先生です。ストレスや不安を抱え込まないためには、心に余裕をもつことが大切であり、そのための方策である「当たり前を考える」「ポジティブ思考をする」「私はOKの感覚をもつ」について、演習を交えながら講演いただきました。

図書館教育研究大会会場

24日（木）に大曲仙北図書館教育研究会大会が本校を会場に行われます。50名近い郡内の小中学校の先生方が、全校集会の参観の他、研究協議等を行います。当日の生徒の登校完了は8:45、放課は11:25です。ご協力をお願いします。

～ 栄光 ～



- ☆第65回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査
課題読書 三席 木村 夏響(3年)
自由読書 三席 黒田莉々子(3年)
- ☆第53回中学生「税についての作文」
大仙市長賞 伊藤 唯斗(1年)